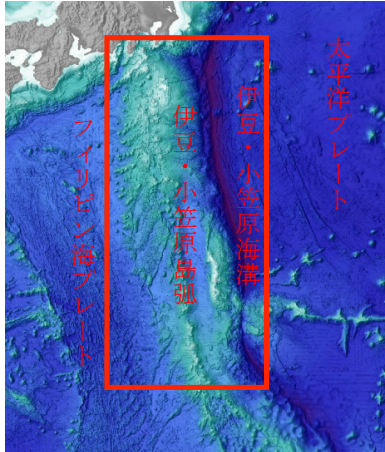


P10. 伊豆・小笠原海溝周辺の 3D 海底地形

第五管区海上保安本部 泉紀明、海洋調査課大陸棚調査室 及川光弘、技術・国際課 海洋研究室 西澤あずさ、海洋研究開発機構 木戸ゆかり、広島大学 中田高・後藤秀昭、東洋大学 渡辺満久、名古屋大学 鈴木康弘

(発表者)海洋調査課 海洋防災調査室 堀内大嗣

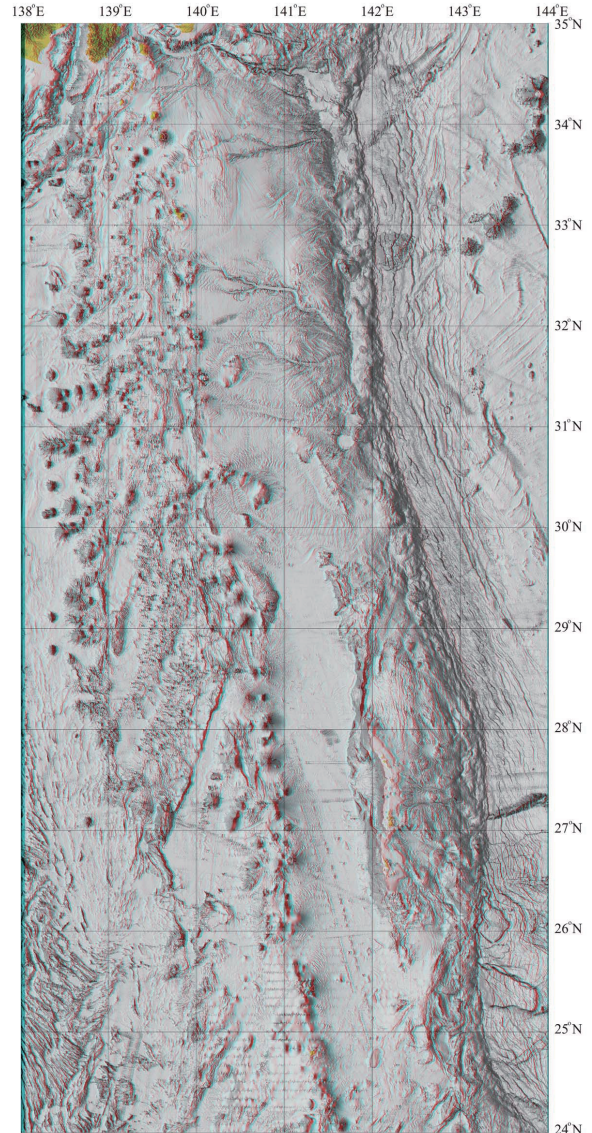


対象海域

伊豆・小笠原海溝は太平洋プレートがその西側のフィリピン海プレート下に沈み込む場所に位置し、最深部は 10,000 m 近くに達する。伊豆・小笠原弧は、太平洋プレートの沈み込みによって形成された島弧である。

伊豆・小笠原海溝周辺海域におけるプレート沈み込みや島弧火山活動に関連した変動地形を捉えることを目的として、150 m グリッド DEM の作成を行った。水深データ作成において、海洋研究開発機構と海上保安庁ほかが得た測深データを集積し、不自然なデータやエラーデータの削除を実施した。

これをもとに立体視できる画像を作成し、地形解釈を行った。



伊豆・小笠原海溝周辺のアナグリフ画像

赤青メガネ（右目：青）をかけてご覧下さい